

ブラジル金融政策（2019年5月）

市場予想通り政策金利を据え置き

2019年5月9日

年金改革法案の審議に引き続き注目

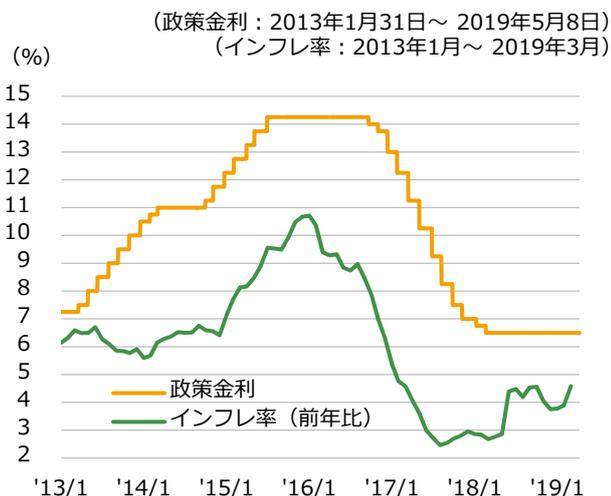
ブラジル中央銀行は5月8日（現地）、政策金利を市場予想通り6.5%に据え置きました。

足元のインフレ率は目標範囲（2019年は4.25%±1.5%）内で推移しており、インフレ期待も高まっていません。中央銀行は景気回復を支援するため、政策金利を低位で据え置くことを決定したとみられます。声明文では、今後の金融政策について、経済活動やインフレなどの状況次第とされています。

今後のブラジルの経済については、現在議会において審議中である年金改革法案をめぐる動向が注目されます。年金改革は憲法改正を伴うため、法案可決のハードルは高いものとなっており、今後の展開は審議の遅延や法案の修正などの紆余曲折が予想されますが、ボルソナロ政権は多少の妥協を重ねつつも最終的には年金改革を達成しうるとみています。年金改革によって財政収支が改善すれば、海外からの資金流入や為替の安定が見込まれ、ブラジル経済の追い風となることが期待されます。

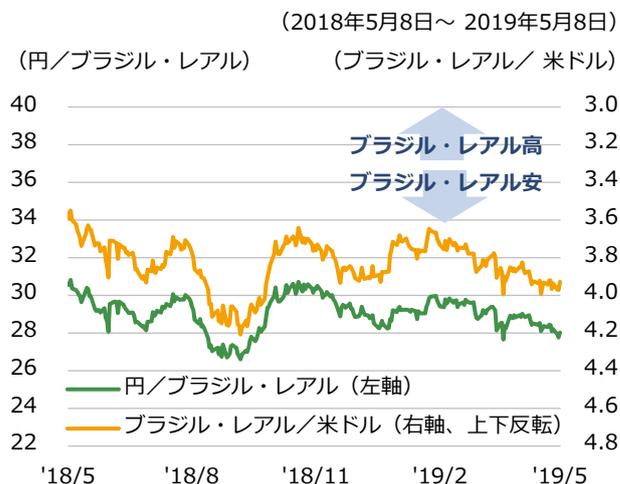
当面のブラジル・レアルは、同法案をめぐる政治動向や外部環境に左右される展開が見込まれます。外部環境としては、米国の金融引き締め観測のほく落はサポートとなる一方で、米中貿易摩擦の問題はリスク要因として注意を要します。

政策金利とインフレ率の推移



(出所) ブルームバーグ

為替の推移



(出所) ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。